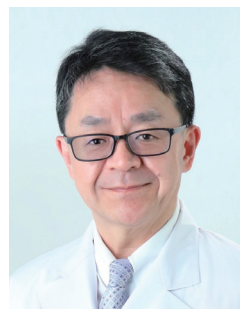


さいたま医療センター・アニュアルレポート 2024の刊行にあたって

自治医科大学附属さいたま医療センター
センター長 遠藤 俊輔



日頃は自治医大附属さいたま医療センターの運営にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

2024年度、外来についてはセンター内の働き方改革推進と診療効率改善のために、比較的症状の安定している再診患者様は近隣のクリニックに逆紹介し、新規の患者をできる限り受け入れていく方針を打ち出しました。その結果、外来患者数は2023年度と比較して9,600人余り少ない354,896人となっておりますが、診療単価は前年度水準を維持しております。

入院は、2023年10月から HCU（ハイケアユニット）病床を10床から20床に増床させ、2024年度も継続して重症患者を多く受け入れる体制を強化しており、また、病床稼働率が減少する土日についての入院促進や、休日入院予定のない病床における月曜退院などの運用を行い、病床稼働率は96.8%と高水準になりました。

2025年度につきましては、外来初診患者の確保と患者の利便性向上のため、5月に新たに Ai 電話を導入しました。また、入院につきましても、救急科の病棟を10床増床し、2次救急の応需率向上を目指し、地域・社会のニーズに今まで以上に応えるべく職員一同邁進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。